

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公開番号】特開2019-166061(P2019-166061A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-56201(P2018-56201)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 C

A 6 3 F 5/04 5 1 7

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月5日(2021.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技メダル投入口と、

プロッカと、

ホッパーと、

前記ホッパーを駆動させて遊技メダルを払い出すときに変位可能な可動片を検知し得る

検知手段C及び検知手段D（検知手段Cは可動片が初期位置にあるときに検知し、検知手段Dは可動片が変位した後の所定位置にあるときに検知する）と

を備え、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をT1とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルが投入された時から、当該遊技メダルがプロッカに到達する直前までの期間の設計値をT2とし、

前記ホッパーを駆動させることによって所定数の遊技メダルを払い出す場合において、

検知手段Cが可動片を検知しなくなる時から、検知手段Dが可動片を検知したあと再度

検知手段Cが可動片を検知して、次の遊技メダルを払い出すために再度検知手段Cが可動片

を検知しなくなる時までの期間の設計値をT3としたとき、

T1 < T2

T1 < T3

となっている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第1実施形態）は、

遊技メダル投入口（メダル投入口 47）と、

プロッカ（45）と、

ホッパー（35）と、

前記ホッパーを駆動させて遊技メダルを払い出すときに変位可能な可動片を検知し得る検知手段 C（払い出しへンサ 37a）及び検知手段 D（検知手段 C は可動片が初期位置にあるときに検知し、検知手段 D は可動片が変位した後の所定位置にあるときに検知する）（払い出しへンサ 37b）と

を備え、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値を T1（図 5 中、「T1」）とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルが投入された時から、当該遊技メダルがプロッカに到達する直前までの期間の設計値を T2（明細書「0227」に記載の「T2」に相当）とし、

前記ホッパーを駆動させることによって所定数の遊技メダルを払い出す場合において、検知手段 C が可動片を検知しなくなる時から、検知手段 D が可動片を検知したあと再度検知手段 C が可動片を検知して、次の遊技メダルを払い出すために再度検知手段 C が可動片を検知しなくなる時までの期間の設計値を T3（図 8 中、S31 から S35 まで）としたとき、

T1 < T2

T1 < T3

となっている遊技機である。